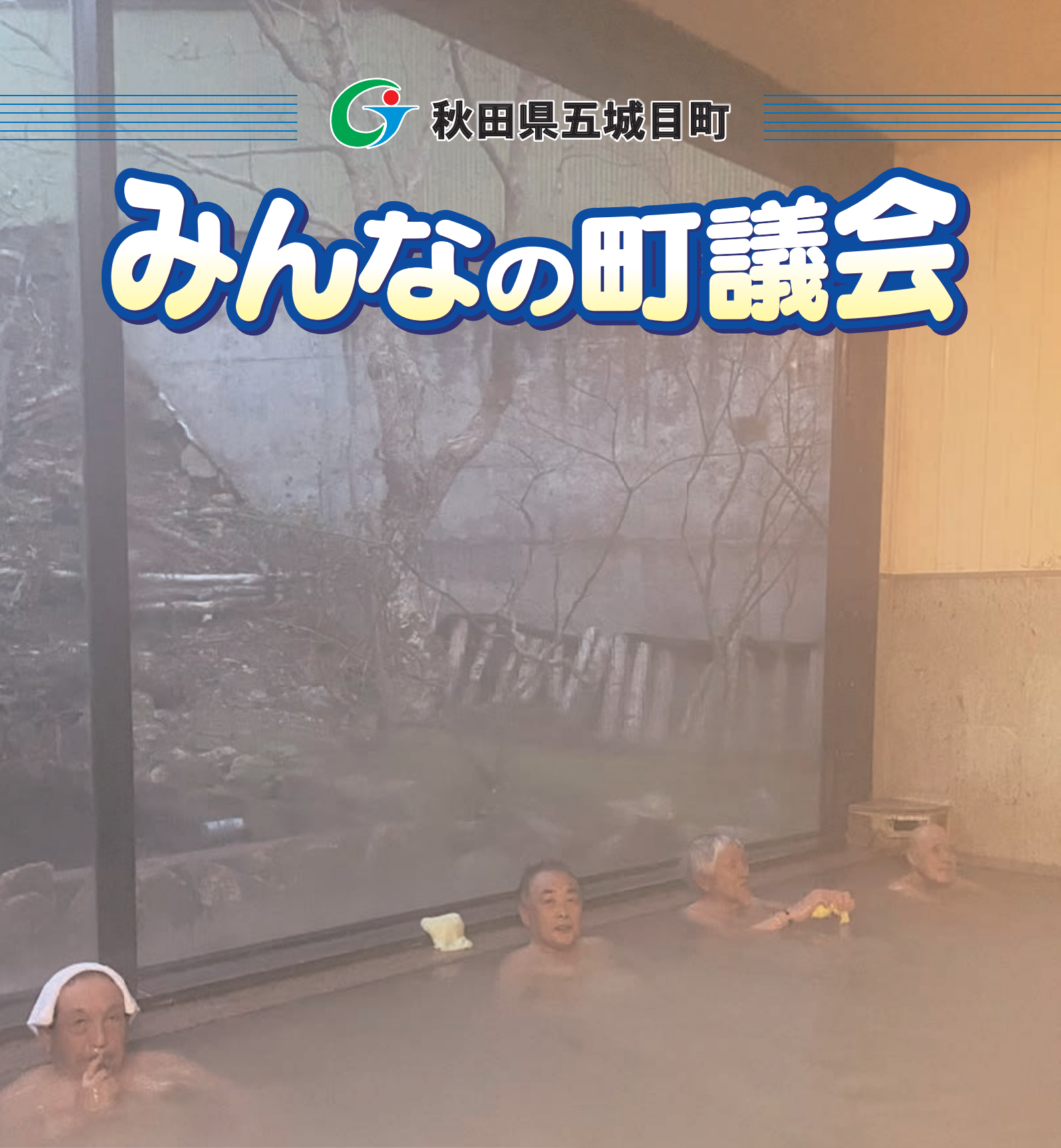




秋田県五城目町

みんなの町議会



目次

- 定例会の経過 2～3
- 第1回臨時会 4
- 全員協議会 5
- 常任委員会の焦点 6～7
- 一般質問に6名登壇 8～14
- あれ なんとなったべが！ 15
- よぐきてけだな・がんばってます 16

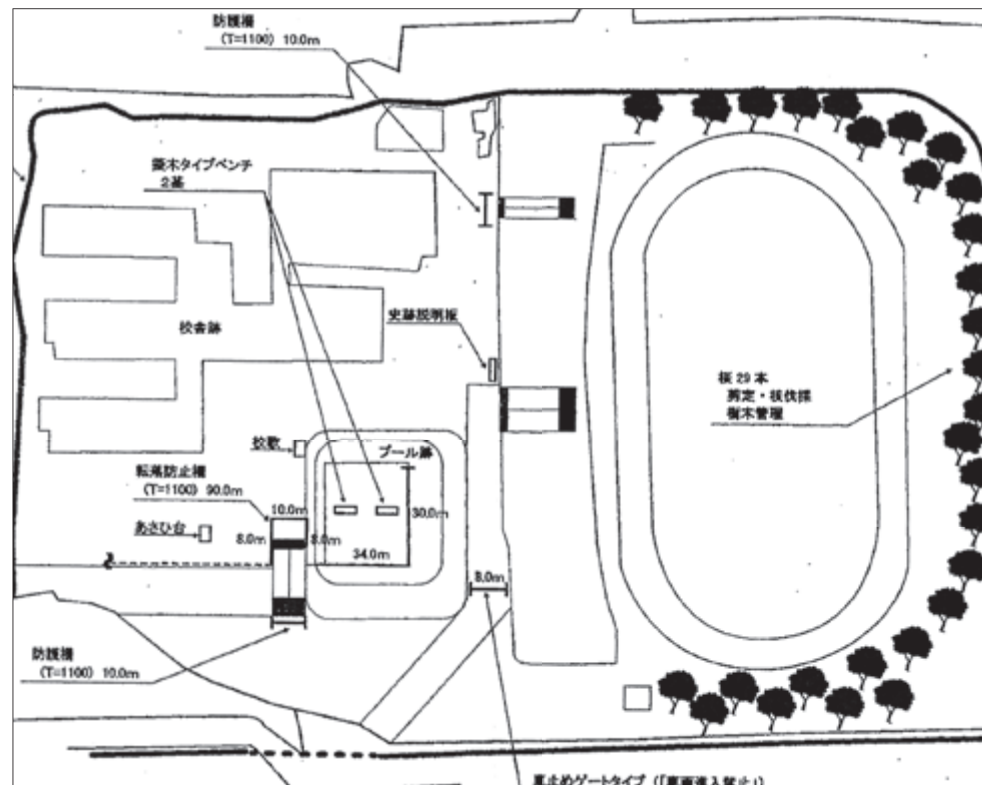
No.150

2022年5月1日

若者や町民も協力して
憩いの温泉を復活

五小旧校舍跡地の 利活用方針を巡り紛糾

令和4年度一般会計当初予算の財産管理費に五城目小学校旧校舍跡地に関する659万3千円が計上された。その内訳は、安全対策に係る工事請負費とグラウンドの桜剪定・草刈りなど保守管理委託料を計上し普通財産として管理するもの。町はこれまで、同所の利活用について、土砂災害警戒区域に指定されているため構築物の建設は難しいが、町民の声を参考にし、関係機関と協議をしたうえで、町民の健康づくりの場、憩いの広場などとなるよう検討するという姿勢であった。ところが、ここにきて突然方針転換をし、令和4年度は人の立ち入りを想定しないとしたことに、議員から質疑が相次ぎ、併せて新年度の計画図面の提出を求めた。坂の下に車止めゲートと防護柵、高台に転落防止柵、プー



議員に配布された旧校舍跡地の計画図面

今回の件では、町当局による民意無視、密室行政、議会軽視と言われても仕方がない進め方が露呈した。今後は気を引き締めて行政を進めるよう指摘した。

■関連記事P11

(荒川 滋)

令和4年度一般会計当初予算の財産管理費に五城目小学校旧校舍跡地に関する659万3千円が計上された。その内訳は、安全対策に係る工事請負費とグラウンドの桜剪定・草刈りなど保守管理委託料を計上し普通財産として管理するもの。町はこれまで、同所の利活用について、土砂災害警戒区域に指定されているため構築物の建設は難しいが、町民の声を参考にし、関係機関と協議をしたうえで、町民の健康づくりの場、憩いの広場などとなるよう検討するという姿勢であった。ところが、ここにきて突然方針転換をし、令和4年度は人の立ち入りを想定しないとしたことに、議員から質疑が相次ぎ、併せて新年度の計画図面の提出を求めた。坂の下に車止めゲートと防護柵、高台に転落防止柵、プー

ル跡にはベンチ2基を設置。グラウンドの桜剪定と斜面の草刈りという内容だが、人の立ち入りを想定していない点と矛盾している。そして、町民の声を参考にすることも、関係機関との協議をすることもなく進めている。議案上程時の質疑で議会は紛糾し、町当局は「原点に返り再度慎重に協議

検討していく」と方針を変えた。この事案について総務産業常任委員会では、事業の進め方と手続きについて瑕疵があるとして総務課長に説明を求めた。総務課長「手続きをやり直し、あらためて関係機関などの協議を経て、利活用方法を定めたのちに出来る限り早期に必要な整備を実施する」

協議を深めるため副町長に出席を要請し説明を求めた。

副町長「手続きの不備について陳謝する。今後係る経費について補正予算で対応させていたたく」

総務課長「早急な安全対策が必要であり、今回計上した予算の一部で執行することを了解していただいた

令和4年度一般会計予算

コロナ対策と持続可能な行財政運営
55億5,700万円

3月
定例会

議会の経過



年度当初の予算審議は議会の大切な役割

3月定例会は3月7日から15日まで9日間の日程で開かれた。

初日 渡邊町長は施政説明で「令和4年度一般会計当初予算は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策への対応を最大限考慮しつつ『スクラップ・アンド・ビルド』を基本に、限られた財源の効率的な配分と歳出の効率化を図りつつ、持続可能な行財政運営に資する予算の編成を基本的な方針とした。第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略において、令和3年度では、起業家数は1年間の目標数値3人を7



工事が進む火葬場

人上回る10人で、事業所改修についても9件の支援を行うなど、町内での事業活動の活性化につながってきている」と述べた。その後、全議員から発議された「ロシアによるウクライナへの軍事侵略を非難する決議について」を可決した。

2日目 一般質問には6名が登壇。除雪事業、少子化対策、五城目小学校旧校舍跡地の活用、雀館公園の整備、郷土の味保全、森林環境増進税などの質問が行われた。

3日目～5日目 当局より令和4年度一般会計予算案、特別会計予算案、五城目町総合発展計画基本構想など33件の議案が上程され、各常任委員会では審査した。

最終日 各委員長報告の後、全議案を可決・認定した。また陳情1件を採択した。



町長からの施政説明報告

(松浦 真)

令和4年度の主な予算

- 火葬場整備関連事業 1億8,502万円
- 地方道路整備事業(交付金事業) 1億3,368万円
- 一般廃棄物埋立処分整備事業 6,305万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種対策事業 3,986万円
- 小型動力ポンプ積載車購入事業 2,369万円

第一回 臨時会

4月4日

議会の構成が変わった。
議会運営委員会・各常任委員
員会・議会広報編集委員会の
構成を決め閉会した。

議会運営委員会

- ・議会の運営に関する事項
- ・議会の会議規則、委員会に関する事項
- ・議案条例、予算、契約及び請願、陳情に関する事項
- ・議長の諮問に関する事項
- ・その他、議会運営に関する事項

委員長	佐々木仁茂
副委員長	斎藤 晋
委員	工藤 政彦
委員	椎名 志保
委員	荒川 滋
委員	佐藤 重信
参 与	
議長	石川 交三
副議長	伊藤 正春

総務産業 常任委員会

- 総務課
まちづくり課
- 税務課
- 出納室
- 選挙管理委員会
- 農林振興課
- 商工振興課
- 建設課
- 農業委員会
- 議会事務局
- 監査委員の所管に関する事項
- 右記に関する条例及び工事に
関する事務の調査及び議案、請願、陳情などに関する事項
- 他の常任委員会の所管に属さない事項
- これらの審査を行う

委員長	荒川 滋
副委員長	工藤 途子
委員	佐々木仁茂
委員	石井 光雅
委員	伊藤 正春
委員	佐藤 重信
委員	館岡 隆

教育民生 常任委員会

- 学校教育課
- 生涯学習課
- 住民生活課
- 健康福祉課
- 消防本部の所管に関する事項
- 右記に関する条例及び工事に
関する事務の調査及び議案、請願、陳情などに関する事項
- これらの審査を行う

委員長	椎名 志保
副委員長	松浦 真
委員	工藤 政彦
委員	石川 交三
委員	畑澤 洋子
委員	斎藤 晋
委員	荒川 正己

議会広報 編集委員会

委員長	松浦 真
副委員長	工藤 政彦
委員	工藤 途子
委員	椎名 志保
委員	荒川 滋
委員	斎藤 晋
参 与	石井 光雅
議長	石川 交三
副議長	伊藤 正春



各委員会の構成が決まる

陳情と 意見書

3月定例会では1件の陳情を採択した。

採択

- ◆森林整備を推進するため森林環境譲与税の活用を求める陳情書

陳情者

五城目森林組合
代表理事組合長 石井 一夫

意見書（抜粋）

森林環境譲与税は、基金として積立するのではなく、積極的に活用していただくことが重要だ。そのためには以下の3点を望む。

一、国土保全と脱炭素社会実現のため再造林及び拡大造林に対する助成を図る。

二、森林所有者の負担が大きいう下刈り捨て切り間伐など保育事業に対する助成を図る。

三、間伐事業など森林整備を推進するため大型トラック通行可能林道への早期改修を図る。

（松浦 真）

第1回

議会議員全員協議会

令和4年2月16日

協議案件

- ・五城目町総合発展計画の策定について
- ・五城目町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

令和4年度を初年度とする新たな「町総合発展計画」の基本構想が、町議会3月定例会で可決された。

本計画は、今後10年間のまちづくりの指針となる重要なものとなっている。昨年4月に実施した町民まちづくりアンケートをベースに、町民のニーズを把握しつつ、各分野の有識者24名を集めて、提案や意見を合わせながら計画策定を進めてきた。

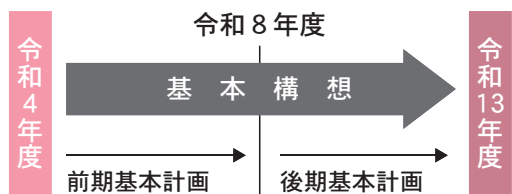
「総合発展計画内の目標設定として全体的に消極的な数値が多いのではない。例えば、町への愛着指数が令和2年度に40・7%であったものを、令和13年度に45%にするという数値は、目標としてはハードルが低すぎるのではない」との議員からの質疑に対し、「今回の目標数値は過年度からの実績をベースに設定している。今後、計画策定後に都度見直しを行っていくため、まずはこの数値で進めていきたい」と当局から回答があった。

町の将来像

ひとが輝き、まちが輝き、
そして未来が輝く五城目

総合発展計画が目指す10年後の町の姿です。この将来像を達成するため、左の6つの基本目標に沿った各施策を進めます。

総合発展計画の構成



計画期間は令和4年度から令和13年度までの10か年とし、前期と後期それぞれ5か年の基本計画で構成します。

事務局職員紹介

定年退職までの3年間を議会事務局に在籍し、貴重な経験をさせていただきました。ご指導いただきました五城目町議会の皆様、大変お世話になりました。



前事務局長
門間 良雄

.....

4月1日付けの人事異動で議会事務局長を拝命しました東海林博文です。これまで携わったことのない業務に、日々、戸惑いと不安を抱えながら向かい合っております。町当局から提案される予算や条例などについて、その可否を決定する権限をもつ議会が、十分な審議を尽くし町民の代表として役割を果たすことができるよう、微力ではありますが事務局職員一同務めて参りますので、よろしく願います。



新事務局長
しろうき ひろゆき
東海林博文

（松浦 真）

雀館公園の日本庭園 整備に向けて



雀館公園に賑わいの復活を

教育民生 常任委員会

令和4年度日本庭園を含む雀館運動公園の整備が行われる。委員から整備内容を問う質疑があり、当局から「日本庭園の樹木管理、雀館公園から町民センター周辺芝生広場までの整備、多目的グラウンドの照明設置工事などとしている。今後、雀館公園周辺を全体的な公園広場としてとらえていかなければならないと考えている」と答弁があった。

また、委員から「コロナ禍のためイベント開催は中止となっているが、さくらウォークやわーくるでのイベント実施など、雀館公園を生徒学習だけでなく、観光の側面からも盛り上げる動きが必要ではないか。全体の整備と利活用促進のためにも、雀館公園全体のランドデザインが重要。公園整備専門の業者を呼んで、年間計画を策定し、整備を推進していくことが必要」と指摘がなされた。

ICT支援員1名を配置へ

五城目小中学校では、令和3年度より一人一台のタブレット端末が貸与され、子どもたち一人ひとりに向けて個別最適化された学びやICTを活用した学習を提供している。

そこで、令和4年度よりICTを更に活用する人材として、小中の学校現場にICT支援員一名を配置することになった。

委員から「新たに配置されるICT支援員は、支援の必要な児童生徒や不登校支援も行おうとしているが、どういう経験を持つ方か」と質疑があり、当局から「条件として教職員の免許を持っていることとあり、それを満たし、更にICTに詳しく、週に5日、小中学校どちらにも入っていただく」と答弁があった。



ICT活用で困難を抱えた子どもたちへも円滑な支援を

公営住宅の集会所を 町内へ譲与



修繕を進めた新里町集会所

公営住宅の共同施設としていた「新里町集会所、矢場崎集会所」を関係各町内会へ譲与するため、条例の一部を改正する。

委員から「町内会との協議で要望などはあったか」と質疑があり、当局から「口頭での協議を進めてきた結果、無償での譲与を要望されたので行った」と回答があった。



屋根の塗装を行った矢場崎集会所

町集会所では屋根の張り替え、破れた障子・襖の補修、割れたガラスの交換などを実施、座敷の床板の張り替えも行った。

矢場崎集会所は屋根の塗装などを行った。

土地の所有は町で、施設だけを譲与する。施設に関する登記は町内会に任せる。今後、町内会役員立会いのもと契約を進めていくことを指摘し、全会一致可決とした。

馬場目地区観光施設の 指定管理者が決まる

宿泊施設「盆城庵」と農家レストラン「清流の森」の指定管理者は引き続き、清流の会（会長金澤幸則）とする事が決まった。期間は令和4～6年度の3年間。年間の指定管理料は盆城庵47・8万円、清流の森450万円となっている。



春を迎え多くの利用が望まれる両施設

（畑澤 洋子）

総務産業 常任委員会

五城目町総合発展計画 今後10年の基本構想まとまる

現計画策定から10年が経過する中で、人口減少、少子高齢化の進行に伴う社会的・経済的な影響、町内外を取り巻く社会情勢は大きく変化している。令和13年度に向けた新たな基本構想を掲げて、令和8年度を目標年次とする前期基本計画を策定する。

委員から「間もなく終了する現計画の総括として達成度をどうとらえているか。新たな計画では目標達成に向けてどう変わるか」と質疑があった。

当局から「平成24年度を始期とする計画は、消防庁舎、五城

目小学校、防災行政無線、湖東病院の改築、屋内温水プールの改修など大規模なハード事業が進められ、達成度は高いとらえている。達成度が低いものとして、集落営農や農業法人を現した件数、朝市の延べ人数来訪者数、がん検診対象者の受診割合、国民健康保険加入者一人当たりの医療費、体育施設の利用者数などについて改善しながら進めていく。現計画になかったSDGsの新たな考えに基づき、環境やエネルギー対策にも取り組んでいく」と答弁があった。

除雪会議へ町民の意見は 反映可能か

町長 いつでもオープンにしている

松浦 除雪は町民にとっても毎年数千万円の予算がかかる一大事業とも言える。そのため、効率化や事業の透明性の担保が重要。毎年夏に行われる除雪会議内の議事録を公開、またZoomなどを通じて町内会などの代表的な意見を反映することが望ましいのでは。

町長 その年の天候状況により、除雪業者にかかる費用は年々違うが、多くの額を費やしている。

議事録や状況の公開については町民が必要であるということであれば公開は可能。

松浦 議事録の公開は可能ということであったが、（除雪会議に）意見を反映するということとは可能なのか。

町長 意見については、いつでもオープンにしている。町民からの声をいただきたい。町民からの意見がオープンになった上で、その意見が反映されているかどうかは議事録の公

危険と隣り合わせの除雪

松浦 雪を底から剥ぎ取る作業を行う際、マンホールとアスファルトの隙間に除雪車がひっかかり、除雪オペレーターが怪我をする事例が昨年あった。そのような危険な場所が大川地区だけで13ヶ所ある。様々なエリアで放置されているこれらの危険箇所は、予算がなく修繕箇所が多すぎると建設課から聞いたが、これらの改善がないと安心してオ

開によって分かる。町民の関心も高いことなので、議事録の公開を。



除雪は町民にとって身近なテーマ

子ども議会の開催に向けて

松浦 昨年12月に五城目第一中学校の生徒による「少年議

ペレーターは業務を行うことができないのではないかと。実際の修繕必要箇所は何箇所あるか。また、その修繕費用は総額どれくらいになるのか。

町長 下水道のマンホールには大きく分けて2種類があり、下水道工事を始めた頃はマンホール周りが角ばったタイプであったが、徐々に改良が施され、途中から角が丸みを帯びた除雪対応型に変わってきている。指摘にある大川地区の下水道工事は当町でも一番早い地区であり、ほとんどが角ばったマンホールとなっている。

平成30年に除雪業者とマンホールなど障害となる箇所の総合点検を実施し、上水道の弁も含め60ヶ所、支障となることを確認している。早急に改善が必要な箇所や、重要な箇所を中心に徐々に改善を進めている。費用に関しては復旧方法や構造の違いがあるが、大方1ヶ所当たり20万円程度。



子ども議会に向けて

あなたにかわって
聞きました

一般質問



松浦 真

一般質問

6議員が登壇 我が町政を問う

一般質問とは？

- ・年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- ・答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- ・質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

質問者

松浦 真 議員

- 五城目町子ども議会の開催に向けて
- 除雪の現状と今後の見通しについて
- 給食費補助について
- 火葬場改修事業のエネルギー価格高騰にともなう影響について

椎名 志保 議員

- 喫緊の課題である少子化へ思い切った施策を
- もりやまこども園の今後の運営について
- 企業誘致、雇用の確保について
- 農林業の今後の取り組みについて

荒川 滋 議員

- 五城目小学校旧校舎跡地の利用法について
- 町を訪れる人をもてなす機運醸成を
- 五城目高校との連携強化について
- 災害や感染症に備えたBCP事業継続計画の再確認を

畑澤 洋子 議員

- 新型コロナウイルス感染症について
- 雀館公園の整備で快適な賑わいを
- 带状疱疹予防接種に助成を
- 健康寿命を延ばす歯科検診を町でも

斎藤 晋 議員

- 町が誇れるものは何か
- コロナ対策について
- 除雪について
- コロナ禍での一人暮らしの孤立について

館岡 隆 議員

- 基幹産業について
- 森林環境譲与税について
- 森林組合の合併について
- 企業誘致と工業団地の整備について
- 施政説明について

* 誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

五城目町議会映像配信 www.gojome-town.stream.jfit.co.jp



意義ある発言機会は大事な 議員活動の場といえます。 議会を傍聴してみませんか？

傍聴の手順をご紹介します。事前連絡は不要です。

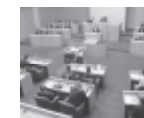
- ①役場4階へ上がります。
(エレベーターをご利用ください)



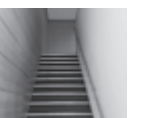
- ②議会事務局前で受け付け。
(受付表に必要事項を記入
検温と手指の消毒剤あります)



- ④町の方向性を直接聞くことができます。
(開会中はお静かに願います)



- ③階段で傍聴席へ。(定員40名)
(現在は、コロナ禍において
定員15名としています。)



※新型コロナウイルス感染拡大の防止および、傍聴される皆様の健康を守る観点から、当分の間、傍聴を自粛いただく場合がございます。 お問い合わせ先 議会事務局 018-852-5411

校舎跡地活用の 進め方は民意無視だ

町長 説明不足であったことを反省する

荒川 過去の五小旧校舎跡地利活用についての一般質問に対し、「町民の意見を参考にし、関係機関と協議をして検討していく」と答弁があった。どのように進めてきたか。

町長 教育委員会で種々検討を重ねてきたが、大前提（土砂災害警戒区域）から、スポーツなどの利用施設としては馴染まないで、関係機関との協議に至っていない。

荒川 教育委員会での協議はされていないことを確認したうえで質問している。

教育長 学校教育課と生涯学習課の課内では協議したが、大前提を考慮し教育委員会の定例会で協議する段階には至っていない。

荒川 過去の答弁に沿わないこの進め方は議会軽視ではないか。

あなたにかわって
聞きました
一般質問



荒川 滋

荒川 災害が起きうる時には使用できないルールが私の大前提だ。町民との対話を進める町長ではなかったのか。今回の件で、民意無視、閉鎖的な密室行政が浮き彫りになった。気を引き締めなおして中



有効活用が求められる五小旧校舎跡

町長 説明不足を反省するが、決して議会軽視ではない。

荒川 同所の利活用方法をあらためて問う。

町長 警戒区域を考慮し令和4年度は普通財産として施設の開放はせず、安全対策・維持管理（車止めと防護柵設置、グラウンド桜剪定、斜面の草刈りなど）659万円の予算を計上している。将来的には、大前提を考慮したうえで制約を設けた利用も含め検討していく。

高まる人気 森山の環境整備

なお町当局は、旧校舎跡地について、手続きをやり直し有効な利活用について関係機関と協議し、方向性が決まれば早急に着手すると方針転換した。

荒川 高まる森山人気に合わせ、登山ベース基地である駐車場のトイレを城休館中の冬期間も開放すべき。森山を巡る状況は変わってきている。町全体で町を訪れる人をもてなす機運醸成を發揮せよ。

町長 冬の安全管理、鍵の開閉、清掃、凍結防止、除雪などを考慮し検討していく。

荒川 森山管理道路のコンクリート擁壁が倒壊した。大規模修繕は通信事業者、小規模破損は町が対応する契約。早急な対応が必要だがどう進めるか。

町長 通信事業者には（2月）連絡済み。早急な対応を依頼



早期復旧が望まれる管理道路の擁壁

「湖東の砦」五城目 高校との連携強化を

荒川 第7次秋田県高等学校総合整備計画に「地域との連携協働した上で特色ある学校づくりの重要性」が明記されている。「湖東の砦」である五城目高校存続に向け、さらなる連携強化を。

町長 ふるさと納税を財源とした海外研修の実施や高校生への給食提供の可能性、町とのさらなる連携事業を検討しながら、同校教育振興会などを通じ支援を続けていく。

身の伴う「オール行政・オール五城目」で今後の町のかじ取りをする必要がある。

（その後、本年4月1日から通行止めとなっている）

喫緊の課題 少子化へ思い切った施策を

町長 町総合発展計画の中で
支援を充実させる

椎名 当町の出生数は令和元年度25人、2年度27人、今年度は1月末現在で19人であり、危機的状況だ。これまで妊娠・出産・子育てに対し、様々な施策を行ってきたが改善に至っていない。以前、生まれた子に対し、20歳までの節目節目に、合わせて一千万円を支給しては、との提案があったが、そのくらい思い切った施策が今こそ必要ではないか。財源に、子育て支援というふるさと納税の使途の明確化で、一部応援を募るの

町長 策定中の町総合発展計画の中で、子育て中の親が安心して働ける環境の整備、こども園や保育施設の充実や子育て支援体制の強化、母子保健・児童福祉・ひとり親への福祉を充実させ、安心して子育てできる環境づくりを推進していく。また、結婚や出産に結びつく支援も充実させる。令和4年度ふるさと納税

あなたにかわって
聞きました
一般質問



椎名 志保

事業でガバメントクラウドファンディングを行うとしており、使い道のひとつとして少子化対策事業を検討していく。

こども園の経営安定 に手立てを

椎名 町の著しい少子化に伴う園児数の減少で、もりやまこども園は厳しい経営が続いている。経営の安定は保育の充実にもつながる。町単独で3歳以下の保育料無償化を行い、保護者の負担を町が肩代わりし、より子育ての負担軽減と園児の確保に努めていただけではないか。



園児の声がにぎやかに聞こえるこども園に

町長 保育料や主食費・副食費に対し、国や県・町が補助し、支援を拡充している。こども園の諸費用に限らず、子

洋上風力発電事業 雇用を町へも

育て世代が安心して暮らしていけるよう支援し、子ども人口が増加することでこども園はじめ元気な町へつながると考える。保育料の全額無償化については検討していく。

椎名 本園園舎は老朽化が進んでおり、大規模改修が必要だ。国の補助金を活用することが考えられ、町の負担分を理解し進めるべきではないか。

町長 令和5年度に実施したいと園から相談を受けており、決定した場合は園と協議しながら進めていく。

椎名 洋上風力発電事業は、今後一大産業となることが予想される。洋上風車の建設には中核部品を地元産業が生産できる体制をつくるとしており、マレ社工場を引き継いだ武藤電子工業はじめ周辺企業が参入し、雇用を拡大する動きはないか。

また、県が自治体と連携し進めるとされる「データセンタール」の誘致に手を上げ、町への誘致を目指すのはどうか。

町長 現在、具体的な動きは無いが、今後参入が実現すれば



雇用の拡大が望まれる

ば業績拡大、雇用創出に繋がるものと期待している。データセンターの誘致については、県と連携のあり方を検討していく。

椎名 洋上風力発電事業またその周辺経済に多くの雇用が期待される。通勤圏内である当町として、住まいへの補助や子育て支援の充実でベッドタウンを目指すことも人口増の手立てになり得ないか。求人情報を町からも発信し、帰郷を望む本人や家族が目にするので、Uターンにつなげられないか。

町長 子育てと定住を促進する施策の検討を図り、人口増へ結びつけていく。また、求人情報をホームページ、町広報で発信していきたい。

町の味・郷土の味が無くなる

町長 郷土の味を是非 後世に残したい

町長 小学校6年生が総合学習の時間に、町の魅力をテーマにしたシールをデザインした。シールにはだまこ鍋・お菓子・森山・朝市・城・ネコバリ岩・キイチゴなどが描かれており、この全てが誇れるものと考えている。シールはふるさと五城目会の皆さんに届け、また、ふるさと納税の返礼品に同封し届ける事になっている。町のホームページの改修に合わせ「ハッシュタグ・



ただぎミズ、なんとだししかあ〜



だまこ、うめえど〜

町が他町村・他県に誇れる名物・名物料理はあるのか

斎藤 他町村・他県に誇れるものはあるか、誇れるものをどのように宣伝・育成していくのか。



斎藤 晋

あつと五城目の「コーナー」を開設し資源を生かし、育てるよう努める。
斎藤 町が誇れる名物料理はあるか。
町長 名物料理と言え「だまこ鍋」と思われる、以外にも「あさづけ」「きゃのこ汁」「みずたき」「とろろまんま」「ままづけ」「おやき」などの料理があげられる。これらの名物料理を可能な限り次世代へ受け継いで残したい。
斎藤 手作りの味・昔の味・郷土の味が無くなりつつある。郷土の味伝承のための方策はあるのか。

町長 個人的な好みで言う「だまこ鍋」「きゃのこ汁」「ばつたらやき」なども手作りして食べている。町内の女性農家で組織される「五城目町農村生活研究グループ連絡会」で「未来へ残しておきたい郷土料理」と題し定期的に講習会を開催したいと計画しているが、コロナ禍のため実施していない、2月1日の役員会では今年こそ実現したいと確認している。会では「だまこ鍋」の由来や調理法を指導しており、町の味を守り続けたいと考えている。

町民の孤立を防げ

斎藤 コロナ禍で老人や一人暮らしの町民が孤立している。老人施設や病院など面会が出来ず孤立し、うつ病・痴呆などが進むなど大きな問題になっている。町ではどう考え対策をするのか。

町長 厚生労働省より新たな指針が示され、やみくもに面会や外出を制限するのではなく、可能な限り安全に実施できる方法を検討していくと変更された。自粛の陰で認知症の進行、身体機能や生活機能が低下したり、体調の変化に気付かず対応が遅れるケースも目立つ。地域包括支援センターでも、専門職との連携による戸別訪問や電話での見守り声掛けにも力を入れ、コロナ禍に沿った相談支援に取り組んでゆく。

他に

○コロナ対策について

○除雪について

などを質問しました。

雀館公園の整備で 快適な賑わいを

教育長 障害者用トイレの設置と バリアフリーの対策を講じる



バリアフリートイレの設置を

あなたにかわって 聞きました

一般質問



畑澤 洋子 (公明党)

畑澤 ウォーキングをする人が多い公園は、健常者のみならず多少の障害があっても頂上を目指し登っていきける優しい配慮が必要ではないか。障

害者用トイレ設置とデコボコがある散策道の舗装改修を。
教育長 歴史ある雀館公園周辺の賑わいも取り戻しつつある。懸案の日本庭園の整備・多目的グラウンドの一部改修などで親しみをもち、更なる憩いの場を目指している。障害者用トイレの設置と散策道の改修について、関係団体から意見を伺い、バリアフリー対策を講じていく。

5歳から11歳ワクチンの相談窓口設置を

畑澤 接種拒否や医療上の不安を抱える保護者からの相談窓口が必要では。

町長 予防接種法の努力義務規定は適用されないので接種拒否は可能。相談対応は県が設置する「秋田県新型コロナウイルス小児接種専用相談センター」への紹介で、保護者の不安解消に努める。



幼児の不安解消を

自宅療養者支援に置き配を

畑澤 濃厚接触者や自宅療養者は、準備をする時間もなく自宅隔離となる。7日相当分の食事・日用品を玄関に置き配する行政もある。町でも支援しては。

広域接種会場で前倒しのワクチン接種を

畑澤 2月1日発表のワクチン接種者数は、秋田県が全国最下位だった。一日でも早くワクチン接種を希望する人は多い。医師不足が原因なら広域の会場での3町合同接種で早期完了を。

町長 3町合同で実施できる駐車場と冷暖房設備のある会場は近隣町村にはない。医師会の方針で近隣3町は平日をメインに実施することになっているため、出務可能な医師の人数・接種時間が限られているため実現困難である。

町長 自宅療養者への食料品の配布は、県が無償で行っている。親戚や知人の協力を得られない人が対象。様々なケースがあり相談次第対応する。

あれ

なんとなくだったべが！

令和3年度3月定例会一般質問より

あなたにかわって
聞きました

一般質問

ロシアのウクライナ侵攻 「プーチンの蛮行」どう思う

町長 断じて容認できない



館岡 隆

館岡 我が町にウクライナ避難民の受け入れを表明すべき。

町長 日本政府を含めた国際社会が綿密な連携のもとに外交努力を重ねていただきた。

鹿角元市長の 官製談合は

館岡 鹿角元市長の事件について、政治哲学（公益性）の欠如、議会の無関心、無気力化、首長の責任は勿論一番大きいですが、長期政権の中で不正を見過ごした議会の体制の結果である。

町長 一連の報道については、未だ全容が明らかになっていない。コメントを差し控える。

森林環境譲与税 の活用は

館岡 森林環境譲与税の収入実績と、千代田区と連携した「千代田の森」、路網の整備、再造林への取り組みなど今後の計画は。

町長 令和3年度7千482万円の見込み。基金は5千155万円。

令和3年度17haの捨て切り間伐を完了。2050年脱炭素社会実現に向けて千代田区と連携して森林整備事業を実施する協定を結ぶこととし、令和4年度は川堤町有林5・7haに植栽の予定。この事業を通じ、民有林の再造林の促進を行い、林業専用道の整備を県と連携し、地元の負担軽減を図っていく。

森林組合の合併 に向けて

館岡 今後のスケジュールや合併に向けた課題について町長の対応について。

町長 五城目、湖東、男鹿、3つの森林組合合併の今後の流れは、合併推進協議会（男鹿市、潟上市、井川町、八郎潟町、大潟村、五城目町各市町村長、及び各森林組合の役

員が委員となる）にて予備契約、認可、登記完了後、年内に合併を目指す。町としても積極的に推進する。

館岡 組合員数、所有面積は五城目町が多い。組合の本部事務所を、五城目町中心市街地又は、役場庁舎周辺の町有地、空き店舗、空き事務所に移転すべき。それが林業のイメージアップにつながり、若手組合職員のモチベーションもアップし、町の活性化にもつながる。

高速インターを活用 した工業団地の整備 と企業誘致計画は

館岡 中国木材株が能代工業団地に進出、27haを取得する大型企業誘致である。工業団地がないと企業の進出を誘引できない。地元の雇用を確保し、町の活性化を図る必要がある。五城目インターを活用した工業団地の整備と企業誘致の計画について町長の考えを問う。

町長 進出企業がなかった場合には、土地の造成など、県と連携して対応する。現段階において進出企業が無いので団地の整備に至っていない。

館岡 昨年の町長選で企業誘

致より現在ある企業を支援していくとしたが、それらの企業も撤退した。能代に進出した中国木材株に「木の街五城目」として何かアクションを起こす気はあるか。

町長 能代市では、工業用地対策室を新たに設置して対応している。これまでのところこれらに伴う町による接触、交渉はしていない。可能性を模索しながら今後の動向を注視していく。

基幹産業の活性化に 向けて長所と課題は

町長 新品種「サキホコレ」は22年度産米の作付面積800haに設定された。担い手不足は喫緊の課題であり、ほ場整備を積極的に進める。林業は皆伐に向けた森林が400haあり、今後林業の利益向上を見込む。



手入れの行き届いた美林は地域の宝

問

公共施設において地元の技術（集成材）と木材の更なる活用をすべき。

1年前の答弁

県の林業研究研修センターと連携し活用を検討する。大規模改修の火葬場を始め、公共施設で活用し、木材利用・需要拡大の促進と林業の振興に努める。

現在

県林業研究研修センターは、森林整備や林業普及に関する業務が主となっており、木材の利活用の連携は困難であった。また火葬場については、内装材での利用を考えていたが、町内では資材の調達ができず実現していない。



地元産木材の利活用が実現しない火葬場改修

問

リスクの高いヤングケアラーに、早期の適切な支援を。

1年前の答弁

核家族化の進行や一人親世帯の増加により、子供や若者も家族のケアに関わらざるを得ない社会になっていると認識している。町として実態の把握やサポート体制を整えていく必要がある。

現在

ヤングケアラーについては、周囲も本人も認識不足であると考えられることから、今後、チラシやポスターなどによる普及啓発に努め、当事者の方が相談しやすい環境を整備し、支援を要するケアラーに対しては、教育委員会や関係機関と連携し支援していく。

問

職員の人材育成は。

1年前の答弁

「五城目町職員の人材育成に関する研修計画」に基づき、職員一人一人が自己啓発に努め、創意工夫を凝らしながら能率的な事務処理を執行できるように研修に参加させる。

現在

研修計画に基づく研修は、コロナ禍により、研修所での研修参加が難しい状況にあるが、オンライン研修などに参加させ、能率的な事務処理を執行できるよう職員の自己啓発に努めている。

問

地域おこし協力隊制度の更なる活用を。

1年前の答弁

令和3年度においては、県内で初となる民間団体委託による、地域おこし協力隊の配置を計画している。

現在

令和3年度において、民間団体に委託し、6月から移住定住情報発信、地域おこし支援、空き家利活用、自らの定住に向けた活動などを活動目標とする地域おこし協力隊員を募集しています。多数の問い合わせや応募はあったが、年度内の採用には至っていない。

よび
きてけだな



「書と触れる場所をつくれたら」

○いつ、どんなきっかけで五城目へ

2019年春に、当時東京と五城目を行き来して生活していた友人（元協力隊の張さん）夫婦に誘われて五城目に遊びに来たことがきっかけで、この町を知りました。そこで今の夫と知り合い、昨年結婚を機に地元の横浜から引越してきました。



佐藤野々歩さん
(上樋口)

○五城目で生活している感じる点

自然との距離が近くて、毎日季節の移ろいを感じられることに驚いています。日々開く花の蕾や、鳥の鳴き声など、今まで気が付かなかった発見があり楽しいです。雪と運転にはまだ慣れず途方に暮れることもあります。それでも含めて新鮮な思いで過ごしています。

○これからに向けて

地元では書道教室の運営指導の仕事をしていたので、近い将来、年齢を問わず町の皆さんが楽しみながら書と触れ合える場所を作れたら良いなあと思っています。まずは町の先輩たちに習って、五城目の色々な姿をもっともっと知るところから始めたいです。



五城目朝市で買い物をする時間も好きです

(松浦 真)

がんばってます

最後の一年を最高の一年に



五城目町立
五城目小学校6年
宮川 陽向さん

五年生の時は、人前で発表することが苦手でした。そんな私でしたが、運動会で放送担当になりました。

学年の代表として、初めての経験ができました。この経験から人前で発表することと自信がついてきました。毎日の授業で進んで発表したり、学習発表会でリーダー役に立候補したり

と自分から挑戦するようになりました。

六年生になり、下級生のお手本になろうと責任感をもつようになりました。例えば、集団登校や縦割り班での活動などです。楽しく安全に活動できるよう、六年生として行動しようと決心しました。また委員会の委員長にもなりました。みんなをまとめ、六年生の仲間と協力し学校を盛り上げたいと思いました。勉強も難しくなると思うので、日々の授業はもちろん、家での予習、復習もがんばります。

五年生で学んだ挑戦や自信と、六年生で感じた責任感を大切に最後の一年を楽しみ、最高の一年にします。



なかよく、楽しく

(工藤 政彦)

編集

後記



我が町のこの冬は例年の2.倍の降雪量となりました。除雪費用も昨年にくらべて3,660万円多い、1億3,500万円となっています。このように数字で表すことで、年間予算の配分やその活用意義をチェックしていくことが議員の役割の一つです。そして、それを発信していくことが議会広報編集委員の大切な役割です。

ただ、数字や文章だけでは、なかなか議員それぞれの人柄や想いが伝わりにくいことも事実です。町民の皆様がより議会に関心を持ち、議員に相談したり、議場に足を運ぶ。そして、町の未来について町民一人ひとりが対話する。そのようなきっかけとなる「みんなの町議会」を発行していきたいと思っています。

今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

議会広報編集委員会

委員長 松浦 真

